

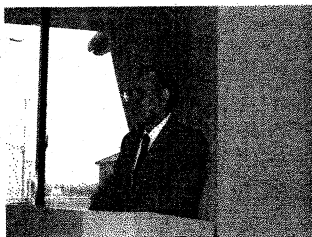
2003年度総会を開催 浩三会長を再選

二神系譜研究会の今年度総会は5月4日午前9時から愛媛県北条市別府の北条市立ふるさと館に会員27名が出席して開かれました。この日はゴールデンウィーク後半のなかびで、朝から五月晴れの上天気となり、かつて河野氏の拠点だった高縄山や二神通範が奮戦した高穴城趾がふるさと館の玄関から眺望できました。

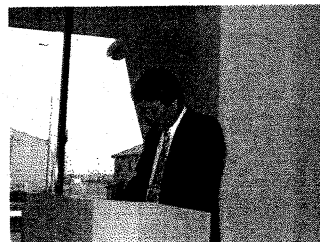
9時30分から始められた総会は司会の二神信助氏(余戸二神氏)が「東は関東地方から西は九州の福岡まで全国各地の会員の皆様にお越し頂きありがとうございます。私も自分の年齢が判らないほどこに年を重ねてきました。二神氏の研究はやっと始まったばかりです。この一年ともに調査研究を進めましょう」と挨拶。つづいて二神浩三会長(畑中二神氏)が「遠いところをお越し頂きましてありがとうございます。昨日は全国水軍サミットが鹿島で開催され潮の香を受けながら楽しい一日となりました。二神水軍として参加し、存在をアピールしてきましたが、全国に二神氏が知れるほど故郷の二神島を訪ねてくる人が多くなっています。このためどうしても二神島に二神記念館を造りたいとの願望があり、今年度はその具体的な検討に入りたいと考えているところです。皆様方の熱心なご議論をお願いします」との挨拶を行いました。つづいて来賓紹介が行われ、竹田風早歴史文化研究会副会長、野本北条ふるさと館館長、菅北条を愛する会代表、倉橋二神小学校校長がそれぞれ紹介されたあと、代表して竹田風早歴史文化研究会副会長、菅北条を愛する会代表がそれぞれの立場からの挨拶を行いました。



2003年度総会



竹田風早歴研副会長



菅北条を愛する会代表

来賓挨拶につづき、二神英臣事務局長(小川二神氏)から2002年度の経過報告と会計報告が行われ経過報告では 1. 調査研究活動 2. 二神系譜研究会への加入促進 3. 広報活動 4. 他の氏族や歴史研究組織、地域などとの交流 5. 各担当部の総括 のそれぞれの項目にそって報告がされました。また会計報告では、一般会計報告、2002年総会・水軍サミット会計報告、第3回二神島交流会、小才角二神氏学習交流会、豊田種長特別会計の5つの会計についての報告が行われましたが、二神寿弘会計監査委員(本島二神氏)の監査報告を受けてこれらを原案通り承認。

2003年度活動計画案、及び予算案の提案に移り、1. 調査研究活動 2. 広報活動 3. 史料収集活動 4. 会員の拡大と組織の整備及び会費 5. 当面の諸行事の日程 の順で提案が行われました。特に調査研究活動では、昨年まで行われてきた全会員を対象にした学習交流会は今年度は行わず、系譜毎のミニ学習会を必要に応じて開催することになり、また発見以来手が付けられていない「法善寺二神文書」「小才角二神文書」「小川大森文書」などの解説作業に着手してゆくことなどが提案されました。広報活動では会報『海の民・ふたがみ』は年1回程度の発行とし、「二神系譜研究会速報」は年5回を基本に必要に応じて発行を目指すことになりました。また、ホームページについても系譜調査研究活動の今日的成果の上に立って内容の充実をさらにはかることになりました。また、新たな会員や若い会員を対象にした「ふたがみさん集まれ!!」の改訂版発行の検討に入ることを確認しました。会員の拡大と組織の整備及び会費についての項では、4年目をむかえた今日時点で、会費の納入を明確にしながら会員の確定を計ることを決定しました。また、予算編成会員は110名とし、会費は年間5,000円とする事で承認されました。二神島に建設予定の二神記念館問題では二神重則氏(吉木二神氏)と二神俊一氏(畑中二神氏)が寄付問題の前提となる会のNPO化に向けてのこれまでの調査結果を報告し、引き続き検討を行いながら来年の総会で全体像を明らかにすることになりました。一方、これまで3年間全国水軍サミットと総会をリンクさせてきましたが、全国水軍サミットの開催が5月に定着するのを受けて、来年度の総会からは会則通り4月に開催することになりました。

当面の日程では、6月22日に奈良市内で「関西・中部支部総会」を開催することになりました。